

早めに進路希望を明確にし、計画的に学習しよう

昨年度の今頃は本校でも中学校でも休校措置が解除される直前で、措置が解除される期待とは裏腹に、感染リスクとどう向き合うかで不安を抱えた人も多かったのではないかと思います。ここ数日、ウイルスの変異株が猛威をふるっているとの情報に接し、ウイルスとの闘いには予断を許さないことを改めて感じさせられます。

さて、1年生の皆さんは本校での2ヶ月の生活が過ぎました。クラスでの生活、クラブ等での生活にそろそろ慣れてきたかと思えます。現在、中間考査が行われていますが、家庭での学習時間は常に確保されていますか？ 高校に入ってから一つ壁を乗り越えた安堵感から家庭学習が習慣化されていない人もいるかもしれません。今は自分の自己実現(進路)についてあまり不安とは思っていないことも時間が経つにつれ不安と思ひ、悩ましい時間がやってきます。自分の選択肢を広げ、また将来への間口を広げるためにも、日々の努力が欠かせません。頭でわかっているても体が動かない、という人は仲間をつくって勉強サークルのような活動をしてはどうでしょう。

2年生の皆さんはそろそろ自分の進路希望・志望校等を明確にして、今までよりも計画的に勉強をはじめとする活動を始動しよう。6月はおおかたのクラブで世代交代が行われ、2年生がクラブでの中心的な役割を担い始めます。秋には生徒会の中心が皆さんにうつります。そういうタイミングにさしかかるからこそ今までの自分の一日一日の生活を見直していくことが必要です。

1.2年生にとっては先のことで目標を早めに立てることが必要です。進路希望(目標)が明確にならない人に対し、「なぜ大学に行くのがいいのか」について述べてみます。現在、まだ目標が定まらず、大学より専門学校へ行ったほうがいいのかと考えている人は参考にしてください。

大学を目指す意味はどこにあるのか

大学に行く理由や意味は人によって様々です。また、必ずしも大学に行かなければならないというわけでもありません。しかし大学に進学することで得られるメリットはたくさんあります。大学ではより専門的な内容を学べる大学での勉強は高校とは異なり、より専門的な内容となります。そのため、大学へ進学する学生は、その分野の勉強が好きだったり、または興味がありもっと知識を身につけたいという目的を持っていたりする人がほとんどです。特定の分野に興味を持つきっかけは人それぞれで、例えば文化祭で実行員会を行った際に、お金の計算や管理の楽しさを知り、経済学部へ入学したという例もあります。少しでも興味のあることを専門的に学べることは、大学へ進学する大きなメリットといえるでしょう。大学へ行くことで将来の選択肢が広がる自分の将来について選択肢を広げられるのも、大学進学の良い点です。**高度な知識を要する資格職は、大学を卒業しないとすることができません。また、建築士のように大卒が必須条件ではないものの、大学の専門学部で学ぶことで大きなアドバンテージを得られる職業もあります。**また、大学では自分の専門分野に加えて、教養科目や副専攻として様々な分野の学問を学ぶことができます。そのため、**将来やりたいことが決まっていなくても大学で広く学問を学ぶ中で、やりたいことを見つけられることがあるのです。**大学へ行くことで就職活動が有利になる大卒を条件として募集している企業は少なくありません。特に公務員や大手企業ではその傾向が強く、**大学を卒業することで就職活動の選択肢が広がります。**もちろん、大卒でなくても働ける企業はたくさんありますが、優秀な人材を求めて大卒を条件にする企業も多いのです。いざ就職したい企業を見つけた際、条件に合わず応募できないといったことを避けるためにも、幅広い社会への間口を期待する人は大学に進学しておくことが肝要です。

最近、実学・資格重視の専門学校と大学との間でどちらが有利か、という質問を受けます。将来自分のやること(職業)が明確になっている人は専門学校でもよいでしょう。ただし、進学した後に目指す職業を変更するとするとその後の対応は大変になることがあります。もっとも大学に進学した後に調理師になりたくて専門学校に通いなおす人などもないことはないのですが・・・進路指導を長く担当させていただいている中で、「専門学校に不本意に入学してしまった」という人は「大学に不本意に入学してしまった」という人よりも多いということはお知らせしておきます。